

時間の旅人 バカル・ヴォタン マヤ古代王朝11代目の王
1952年発見された、この石棺と碑銘の神殿の文字の解読から、
マヤの叡智が甦った。空間認識しかできないソ連の学者は、宇宙
飛行士だと考えた。バカル・ヴォタンは、時間航行者。

第1回

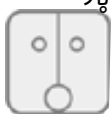
時間はオーガニック・オーダー

柳瀬宏秀の「コスミック・ダイアリー」

マヤ暦の叡智によって、誰でも、 新しい時間に旅立っています

昨年の11月24日、日本では例のない「カレンダーと環境」というテーマで、カレンダーが人と社会と地球に与える影響についてパネルディスカッションが行われました。パネラーは、ユング研究家の河合隼雄（1）文化庁長官、マヤ暦研究の大家で世界的なオピニオン・リーダーでもあるホゼ・アグエイアス博士（2）、今回この連載を執筆する柳瀬宏秀氏の3人でした。驚いたのは、来場者のなかで「コスミック・ダイアリー・セミナー（3）」を受けた人のほぼ100%が、「シンクロニシティが頻繁に起こるようになった」「世界の見え方が変わった」と会場で意思表示をしたことでした。マヤの叡智から生まれた「13の月の暦」に隠された真実とは何なのでしょう？ カレンダーを変えるということには、どのような意味があるのでしょうか？ 6回のシリーズで、宇宙の摂理に沿った暦、「コスミック・ダイアリー」を使うことの深い意味を解き明かします。

いま時間は、四次元
時間がわからない
社会に生きている



朝日も見ないで1日が始まり、
時間に追われるまま、あつという
間に1日が終わる。いつも時間に
追われていると感じるのは、機械
仕掛けの人工的な時間のなかで生
活しているからです。
時計は平面の世界。円を12分割

して、30度ごとに1時間で12時間
その平面幾何学の2次元の世界に
「時間」を閉じ込めてしまったの
が、現在の時計です。

空間が、3次元だとしたら、時
間が平面や立体でない以上、2次
元や、3次元のものではない。時
間は4次元以上の世界です。
新しい時間への旅立ちには、い
まの社会常識に少し風穴をあけ、
宇宙の風通しをよくすることが必

要なのかもしれません。

時間は「オーガニック・
オーダー（有機的秩序）」

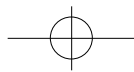


「オーガニック・オーダー」。こ
の言葉が、「時間」がわかるため
の最初のキーワードです。すべて
がつながって有機的に働いている
という事実を感じるところから、
「時間」を感じはじめることがで

- 1 河合隼雄【カワイハヤオ】
臨床心理学者、教育学博士。国際日本文化研究センター所長、京大名誉教授。ユング派心理療法を日本に確立したことで著名。
- 2 ホゼ・アグエイアス博士
マヤ文明が残した「13の月の暦」の研究から、人工的な時間のリズムが人間と社会に及ぼす大きな影響について警鐘を鳴らし、自然の摂理に沿った暦の重要性を提唱している。1970年に始まった「アースデー」創設者の一人でもある。
- 3 コズミック・ダイアリー・セミナー
マヤ暦の叡智に触れて、新しい時間に旅立つための「コスミック・ダイアリー」のセミナー。柳瀬氏自身が、コスミック・ダイアリー公式講師が行う。



柳瀬宏秀 やなせひろひで
環境意識コミュニケーション研究所代表。20
年間、電通にて、コピーライター、CMプラン
ナー、映像プロデューサーとして働き、4年前
に退社し、現職。
「京都、満月祭り」「満月の十三祭り」を企画
プロデュース。仁和寺や上賀茂神社、平安神
宮などで、喜多郎、UA、BEGIN、梅若六郎な
ど、賛同するアーティストと、祭りの空間を生
み出す。「環境意識」「月のおもてなし」「共振
のコミュニケーション」をテーマに、企業コンサルタントやセミナー、
研修、講演なども行っている。
ホームページは、<http://www.async.ne.jp/cosmic/>



チチェン・イツア
マヤの遺跡は、カレンダーになっている。
チチェン・イツアのピラミッドは、
階段が四方に91段ずつある。
合わせて364段。
最後は頂上の1段で合わせて365段。
1年のカレンダーになっている。

土のなかの微生物から、虫、草木、魚、動物まで、すべて、地球上の生物が有機的につながって変化してゆくを感じてみてください。

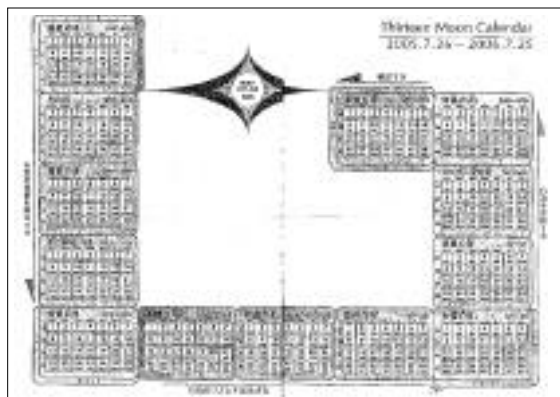
太陽の周りを地球が公転していることにより、地球の生物圏が有機的秩序のなかで動いているのを「観じる」ことができると思っています。

そして、太陽の周りを地球が一周して、同じ位置に戻ってくる。それが1年という時間です。宇宙のリズムと、それが織りなす地球の生命の秩序。それと「時間」を結びつけるのが、「時間」は、オーガニック

きます。

「時間」は、オーガニック・オーダー。初めて聞く言葉だと思えます。目を瞑って、地球が太陽の周りを大航海するのをイメージしてみてください。太陽の光と熱とエネルギーによって、地球上のすべての生命が息づいているのを感じてみてください。

地球は地軸を傾けて太陽の周りをまわっています。日本では、夏には木々が緑に輝き、せみが鳴き競う。秋には広葉樹が色づき、ススキが風になびき、秋色が野山を染める……。



「13の月の暦」 28日、13カ月のカレンダー
364日 + 時間をはずした日 = 365日

満月の周期	29.53日
月の公転周期	27.32日
太陽の自転の周期	約28日

ク・オーダー」というキーワードなのです。

「時間が、オーガニック・オーダー」ということを生活のなかで実感するたびに、あなたは新しい時間に旅立っていくことができます。

28日は、
オーガニック・
オーダーの周期



オーガニック・オーダーというものを知ったなら、太陽と月と地球の有機的な秩序として、28日という周期が意味を持ちはじめま

日本人だけが、
虫の鳴き声を楽しむ

日本人の脳と西洋人の脳の違いについて、よく知られた研究があります。



「日本人は、人間の声はもちろん虫や鳥の鳴き声、川のせせらぎや風の音まで、すべて左脳で聞く

す。女性の生理の平均周期も28日。肌の細胞の周期(ターンオーバー)も28日。宇宙に28日のリズムがあつて、そのリズムのなかで、細胞や遺伝子が育まれたとしたら、「28日」=「体のリズム」でもあるわけです。

宇宙のリズムも体のリズムも28日なのに、28日周期でない「31日」「28日」「31日」「30日」のカレンダーを使う。頭のなかだけまったく違うリズムで生きていくとしたら、自律神経がおかしくなっても不思議はありません。

「コスミック・ダイアリーを使うことで、生理不順が治る」。28日周期でダイアリーをつけることによって、頭も、28日周期を感じ始める。生命を育んだ宇宙のリズムと、体のリズムや頭のなかで、同じリズムに同調すれば、自律神経が正常になっていくのが自然です。

(処理する)。いつぼつ、欧米人や中国人などは、意味のある言葉は左脳で処理するが、意味のとれない声や自然の音などは、右脳で処理する。

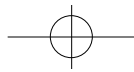
鈴虫の鳴き声が聞こえてくると日本人は、秋の穏やかな情景を感じはじめますが、外国人はこつこつ受けとめ方はしないという。」(角田忠信「日本人の脳脳の働きと東西の文化」)

ヨーロッパのクラシックの演奏家が日本に来て、ホテルの庭に鈴虫が放たれていたのを、「あのノイズを止めてほしい」と言ったとか……。

では、どうして日本人だけが、虫の鳴き声を楽しめるのか？

戦後教育のなかで、「一人称の私」が抜けている。主語があいまいだ」というように、日本語を批判、あるいは一種の蔑みに似た感覚で語られてきたことを、見聞きしてきたのでしょうか。

「英語の「I」(私)は、日本語のように抜けることなどない」と。近代化と西洋化のなかで、日本人は「自己の確立」「自我の確立」といったことが、教育の一番の目的のようにつか思ってしまった。「私」があいまいなのは、とんでもないことだと思ひ込まされてきたのではないのでしょうか。果たし





柳瀬宏秀・著
『コズミック・ダイアリー』
環境意識コミュニケーション
価格2,800円(税込)+送料200円
お申し込み E-mail: cosmic-kin12@syd.odn.ne.jp
FAX: 055-974-3877

パレンケ 碑銘の神殿
1952年、パカル・ヴォアタンの墓が発見される。
墓が閉じられてから、1260年後に発見され、
マヤの叡智が明らかになってくる。
マヤの預言の中核をなすピラミッド。



コズミック・ダイアリー
東京特別1日セミナー(6時間半)
特別セミナー参加費 13,000円

通常3日間セミナーですが、3日間出席が無理な方のために、特別一日セミナーを開きます。

第31回 コズミック・ダイアリー1日セミナー
(東京第17回) 定員30名

2月24日(金) 13時30分から20時00分
場所 めぐるパーシモンホール リハーサル室
目黒区八雲1-1-1 TEL 03(5701)2924
東急東横線 都立大学駅徒歩7分

第32回 コズミック・ダイアリー1日セミナー
(東京第18回) 定員30名

3月5日(金) 13時30分から20時00分
場所 緑が丘文化会館 第7研修室
目黒区緑が丘2-14-23 TEL 03(3723)8741
東急東横線: 自由が丘駅下車7分、
東急大井町線: 緑が丘駅下車8分

第33回 コズミック・ダイアリー1日セミナー
(東京第19回) 定員30名

3月26日(金) 13時30分から20時00分
場所 緑が丘文化会館 第7研修室

【内容】

内容は、1日目、2日目にプラス です。

「時間はオーガニック・オーダー」 日本文化と魂
時間の科学 周期的な秩序 シンクロニック・オーダー
28日周期 銀河の音 ウェイブスベル 太陽の紋章
ツオルキンのフラクタルな意味 銀河の署名

「マヤの預言」 自然の摂理を取り戻す
道徳と科学 時間と預言 時間と生物圏 テレクトノン
パカル・ヴォアタンと波長を合わせ 地球の虹の橋の瞑想

プラス 「2012年に向けて」

【お申込方法】

メール cosmic-human12@syd.odn.ne.jp
あるいはFAX 055-974-3877にて
参加希望セミナーを明記の上、お名前、ご住所、年齢、
電話、メール、あなたのKIN「銀河の署名」(あるいは、
生年月日)をお知らせ下さい。

て、その認識でいいのでしょうか？
山形に講演に行ったときに、主催者の主婦のあいだで、こんな会話が交わされていました。二人は畑で野菜をつくっているらしく、「昨日の雨は、ありがたいねえ」「ほんとに、ありがたいね」と言葉を交わしていました。耳にすこく新鮮に響いてきました。それは、野菜になりきって雨を感じて、そのまま心から出た言葉だから、意識が「野菜」になる。

「私」でない意識に日本人はすぐになれる。虫にも、草にも、木にも、海にも、空にも、神にも。「私」でなくなるのができるのが、日本人の精神と、日本文化の根底をなすものだったことに、いま気づくべき時期だと思えます。「私」でない意識になれる。宇宙意識に近づく。それが、日本人の本質なのです。



一輪の花から宇宙を感じられる
マヤ暦は占いではなく、「時間」についての新しい認識です。空間の認識からの偽りの時間ではなく、「時間」から宇宙を認識していくことによって、新しい時間への旅立ちを促すものなのです。その第一歩が、「時間は、オーガニック・オーダー」というキーワードです。そして、自然時間の28日13ヶ月のカレンダー、「コズミック・ダイアリー」を使うことで、新しい時間への旅立ちを現実のものにすることができるようになります。

日本人は「オーガニック・オーダー」を熟知している文化をもとにもとづいていました。「ここに、マヤの時間と日本文化の接点があり、日本文化の叡智とマヤの叡智が、らせん状に重なり上昇するところに、地球の新しい文明が見えてきます。」
「時間は、オーガニック・オーダー」が一度認識されると、「一輪の花を見て宇宙を感じる」ことも特別なことではなくなってくるでしょう。何も宗教的な達人や、詩人だけの世界ではないのです。あなたもきつと、「世界が違って見えてくる」ようになるはずですよ。
今回は、4次元の時間との接点である、「シンクロニシティ」が頻繁に起こるようになる、「時間」は、シンクロニック・オーダーをということがテーマです。